

第4回全体小委員会議事録（案）

1. 日 時：平成18年5月10日（水）14：00-17：00

2. 場 所：土木学会 講堂

3. 出席者：第4回全体会議出欠表（資料一全4-2）参照

4. 配布資料：

- 1）（資料一全4-1）第4回議事次第（案）
- 2）（資料一全4-2）全体会議出欠表
- 3）（資料一全4-3）委員名簿
- 4）（資料一全4-4）第3回全体小委員会議事録（案）
- 5）（資料一全4-5）「第5回道路橋床版シンポジウム」開催のご案内
- 6）（資料一全4-6）第5回道路橋床版シンポジウム プログラム（暫定版）
- 7）（資料一全4-7）第5回床版シンポジウムまでのスケジュール
- 8）（資料一全4-8）平成18年度 行事計画収支予算書（第5回道路橋床版シンポジウム）
- 9）（資料一全4-9）「吉四六の里に残る鋼橋 明治橋」
- 10）（資料一全4-10）試験方法分科会 活動報告
- 11）（資料一全4-11）性能設計分科会 活動報告
- 12）（資料一全4-12）コンクリート系床版分科会 活動報告
- 13）（資料一全4-13）コンクリート系床版分科会 PC床版WG 活動報告
- 14）（資料一全4-14）鋼床版分科会 活動報告
- 15）（資料一全4-15）明示橋分科会 活動報告

5. 議事内容

（1）委員長挨拶

日野委員長から、今回（第4回）全体小委員会では、第5回道路橋床版シンポジウムの構成について審議することを中心に進めたいと説明された。

（2）新任委員の自己紹介

新任委員から自己紹介がおこなわれた。

（3）第3回全体小委員会議事録確認（資料一全4-4 参照）

碓山幹事から第3回全体小委員会議事録（案）が読み上げられ、以下の修正内容が確認された。

- ・ 5.（6）4） 川端主査 ⇒ 川畑主査
- ・ 5.（6）5） 人気度 ⇒ 認知度
- ・ 6. . . . 床版増厚が必要 ⇒ . . . 床版増厚の範囲の延長が必要

（4）幹事会報告（資料一全4-5～資料一全4-9 参照）

- ・ （資料一全4-5）第5回道路橋床版シンポジウム開催について、（社）橋建協・関西支部などへ積極的にPRしていく。
- ・ （資料一全4-6）街道幹事長からシンポジウムプログラムについて説明があり、座長について協力の依頼があり、シンポジウムプログラムの最終版が確定するのは、6月中ごろの予定であることが説明された。
- ・ （資料一全4-7）学会誌6月号に「第5回道路橋床版シンポジウム開催」の会告が掲載予定であり、小委員会HPにシンポジウムプログラムを掲載できるように準備しておく。
- ・ （資料一全4-8）床版シンポジウム講演論文集（テキスト）のみ購入する場合の費用は、シンポジウム開催までに決定することとする。

（資料一全4-9）文化庁の北河氏から依頼があり、日野委員長が「第9回鋼構造と橋に関するシンポジウム（8/4：早稲田大）」で明治橋に関して講演を行うことになった。

（5）分科会活動報告

各分科会の幹事から、活動報告（パワーポイントを使用）がおこなわれ、各内容が確認された。

1) 試験方法分科会（資料一全4-10：上條幹事）

共通輪荷重試験報告書を、4月末に参加団体に配布した。報告書（生データ）の公表については、試験体出来形のバラツ

キが大きいため、公表は難しい。床版シンポジウムでは、①クランク式試験装置を用いた道路橋床版の共通輪荷重走行試験、②自走式試験装置を用いた道路橋床版の共通輪荷重走行試験、③道路橋 RC 床版の共通輪荷重走行試験に関する解析として 3 編投稿する。また、共通試験に関しては、別形式で分科会報告書としてまとめる方針である。

2) 性能設計分科会（資料一全 4-11：内田幹事）

これまで鋼・合成構造標準示方書小委員会設計部会の「床版章」原稿作成に従事してきた。現在のところ、1 次原稿を示方書小委員会の野上先生へ提出を済ませ、示方書小委員会活動の動きに合わせて対応する予定である。床版シンポジウムへは、「土木学会 鋼・合成構造標準示方書 設計編における床版に関する条文の概要」を投稿する。今後の分科会活動は、①性能照査型設計の実用レベルでの導入における技術的課題の抽出およびその検討、②「道路橋床版の性能設計指針」を用いた各種床版の設計計算例の作成を進める方針としている。

3) コンクリート系床版分科会（資料一全 4-12、4-13：久保主査）

床版シンポジウムへは、「高耐久性 PC 床版を長期間有効に活用するための課題」（PC 床版 WG）、「鋼コンクリート合成床版の構造および設計法の現状と課題」（合成床版 WG）、「既設 RC 床版の打替を含めた補修・補強の現状と課題」（RC 床版 WG）の 3 編を投稿する予定であり、各原稿の概要が紹介された。

4) 鋼床版分科会（資料一全 4-14：内田幹事）

鋼床版分科会は、5 つの WG に分けて活動しており、各 WG の活動状況が報告された。WG 分類は、以下のとおり。

- ・ WG1：疲労亀裂発生メカニズム
- ・ WG2：鋼床版の舗装
- ・ WG3：非破壊検査、補修・補強
- ・ WG4：海外の鋼床版
- ・ WG5：新形式鋼床版

活動報告後に、以下の内容が確認された。

- ・ 鋼床版の疲労耐久性を向上させるための S F R C 舗装は、横浜ベイブリッジで初めて行われた。

5) 明治橋分科会（資料一全 4-15：杉原幹事）

以下に示す 4 項目について調査・研究を行っており、床版シンポジウムへは、4 項目それぞれの原稿を投稿する。

- ・ 明治期の技術資料・設計書の調査分析
- ・ 補修・補強と保存に関する事例・技術の調査
- ・ 鉄鋼材料の成分分析・組織観察（新日鐵：楠氏）
- ・ 報告書の作成

分科会の活動期間は、H18.7 末としていたが、H19.3 末に変更されたことが報告された。

分科会報告後、以下の意見が出された。

- ・ 分科会の報告書としては、現在作成している報告書を考えている。
- ・ 報告書中の文化遺産としての選定基準は、あくまで土木学会の資料であり、白杵市が文化庁に提出する基準と異なる場合には、そのまま使用することはできないと考えている。
- ・ 報告書の印刷費用は、本小委員会予算から拠出する。

6. 話題提供（井口委員）

「オランダにおける鋼床版の疲労損傷とその対策」と題して話題提供が行われ、オランダおよびドイツでの鋼床版の視察概要と日本における同様の対策について説明された。話題提供に対して、以下の意見が出された。

- ・ デッキ貫通型とビード貫通型の亀裂の発生原因については、現在のところ解明できていない。
- ・ 本日の話題提供内容は、「橋梁と基礎 6 月号」に掲載予定である。

7. その他

次回、全体小委員会は、9 月 21 日（木）、立命館大で開催予定。

以上（文責：碓山）